

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863

kasagi@potato.hokkai.net

秋。照る山もみじ。

裏をみせ、表をみせ、散るもみじ。天高く澄み渡る北海道の秋。収穫の季節をいかがお過ごしでしょうか。「かおる通信」56号をお届けします。ご一読くだされば幸いです。



旭川市議会議員



笠木かおる



地域要望に全力。



地域要望をいただくことが最近、特に多いような気がします。生活道路、側溝、街灯、街路樹、河川など。どんな時も、一度現場に足を運び、自分の目で確かめて、市役所などと相談することになっています。



写真は東旭川ペーパーン地区に流れるオシヨロ川の支流。「砂利が入り困っている」との地元の声をいただき、解決策を探りました。

感謝、感謝の「夏の夕べ」。



7月27日、旭川ターミナルホテルで「笠木かおる君を囲む夏の夕べ」を開いていただきました。連合後援会（山川博千会長）の主催。会場はご無理をいただいてご参加くださった人、650人。「夢と情熱をもって個性ある街づくりに挑戦していきます」とあいさつさせていただきました。この日ほど、「ありがとうございます」との言葉を使った日はないかも知れません。心から感謝申し上げます。



被災地・福島の子どもたち。



8月3日、原発事故で苦しむ福島県から子どもたちと保護者、53名が受け入れ先の東旭川・光明寺にやってきました。多少なりとも受け入れのお手伝いが出たこと、子どもたちに出会い、逆にありがたく思いました。いい思い出を抱えて、ふるさと・福島に帰ってほしいと願いました。



会派の研修会。



旭川市議会「民主・市民連合」の会長職を担わせていただき、半年が過ぎました。7月12日、虻田郡京極町で北電が建設中の水力発電所を視察しました。日本のエネルギー政策が揺れ、原発依存が見直される中、大いに注目される施設でした。

バス3台で「かおる旅行会」を楽しみました。



第2回笠木かおる旅行会が8月21日～22日の両日行われ、124名の皆さまと洞爺湖の旅を楽しみました。宴会には、ものまねスターの「ヒロ青山」さんもゲストとして登場。露天風呂から見た洞爺湖の朝日は絶景でした。



敬老をお祝いしました。



今年も地元地区の敬老会にご案内をいただき、「敬老会は今日一日ですが、敬老の日は365日、毎日です」とごあいさつさせていただきました。開催日時が重なるため、途中で退席せざるを得ず、申し訳ない思いもしました。(写真、東旭川中央地区の敬老会。左隣は私の母です)



かおる杯パークゴルフに470名が参加。

第11回笠木かおる杯親睦パークゴルフ大会が8月27日、お天気にも恵まれ、開かれました。今回は72歳以上と未満の、2部制で行い、470名の同時スタートはパークランド嵐山はじまって以来の人数だったそうです。これからも「パークゴルフの振興で健康な街づくり」をライフワークにがんばります。



- 【71歳以下男子】 優勝 田中 肇 (94) 準優勝 入江秋美 (95)
- 【71歳以下女子】 優勝 山口恵美子(98) 準優勝 佐々木静枝 (98)
- 【71歳以上男子】 優勝 長谷山 博 (94) 準優勝 柏谷石五郎 (94)
- 【71歳以上女子】 優勝 渡 富恵 (105) 準優勝 小川ミヨ子 (105)

成績表はホームページで公表しています

福祉施設を訪問しました。



共生園、ねむのき、旭光園、上川更正ハイム、おびった、みやびの森、北海道療育園などのお祭りにご案内をいただきました。お祭りでの利用者の笑顔が大好きです。「障がい者の心に障がいはない」。障がいをお持ちの方から学ばされていることです。(写真は「北療祭」)

【近況】次女・香葉がジャマイカで生活をはじめて半年。10月12日から19日まで、ジャマイカに一人で行ってみることにしました。乗り継ぎのため、行き帰りのカナダでの一泊が少々不安な気持ちです。

笠木かおるホームページで毎日、写真付「今日の一言」発信中です。http://www.k-kasagi.jp/

第3回定例会 一般質問にたちました。



旭川市議会の第3回定例会は9月6日に開会し、10月4日までの29日間の会期で開かれました。

今議会は、平成22年度旭川市会計の決算審査などが主な議題でした。私は16日に一般質問、22日に決算審査の質疑にたちました。以下、その要旨を報告します。

新しい地域づくり

- (笠木) 7つの支所に、地域づくりの支援機能を持たせられないか。
- (答弁) 来年度から各支所で、相談業務や地域活動のサポート業務などを行ってきたい。
- (笠木) 支所のない地域の、地域づくり支援機能をどう整備するのか。
- (答弁) 既存の市有施設を活用するなどして、来年度から着手したい。



【解説】地域ごとに予算をつけ、地域のことは地域で決め、地域で実践していくという、新しい手法のまちづくりを推進しようというものです。来年度は、モデル的に豊岡・東光地域の既存施設を活用して地域づくり支援機能を整備できないか、検討をすすめています。



農村部の地域格差解消



- (笠木) 東旭川下南部地区の、土地改良事業の受益者負担軽減対策は。
- (答弁) 土地改良区と連携し、償還支援事業の延長を働きかけていく。
- (笠木) 中山間地域直接支払制度の対象地域にならないか。
- (答弁) 当地区が対象となるよう、国や道へ強く要望していく。
- (笠木) 農村部のインターネット回線未整備地区の解消を。
- (答弁) 解消のための方法や費用を調査する。

【解説】東旭川・下南部地区土地改良事業の受益者農家の償還は、平成30年までかかります。引き続き、償還の支援対策事業の延長を求めています。農村部の情報格差解消も課題です。インターネット回線の整備が急がれます。



医療ツーリズム モデルツアー実施へ

- (笠木) 民間観光事業者、病院と連携し、早期に医療ツーリズムモデルツアーを立ちあげるべきではないか。
- (答弁) ターゲットである中国等への商品紹介を行い、今年度中にモデルツアーを実施したい。



【解説】人間ドックや検診を組み込んだ新しい観光パッケージを開発して観光振興につなげていくものです。自然や保養など旭川ならではの地域資源を最大限発揮できる分野です。

モンゴル国ウランバートル市との経済交流

- (笠木) モンゴル国ウランバートル市との経済文化交流の展開は。
- (答弁) ウランバートル市長の旭川訪問を公式に働きかけたい。

通年制保育園で給食提供を

- (笠木) 14箇所を通年制保育園で給食を提供できないか。
- (答弁) 保護者の意向を把握しながら、旭川保育協会と協議をすすめ全ての通年制保育園で給食を提供していきたい。

【解説】市内14箇所の通年制保育園で給食を提供していく方向性を明らかにしました。現在、通年制保育園の入所率は約70%。給食提供など、認可保育所により近い状態に改善していくことで、待機児童の受け皿となるよう主張しています。



このほか、介護保険制度やごみ処理基本計画について市の考えをたじました。

全日通結成60周年を祝う

全日通労組旭川支部（鈴木修委員長）の結成60周年記念祝賀会が8月13日、旭川グランドホテルで盛大に開かれ、その足跡を祝いました。全日通の皆さまには12年前の初陣以来、今日まで選挙活動の屋台骨としてご支援をいただいています。様々お世話になったことを思い出しながら、会社と組織の繁栄を祈りました。



街頭での訴え



1条買物公園に立ちました。定例市議会の市民への報告。わかりやすく、丁寧にと、心がけていますが、なかなか滑らかにいかないものです。「みえる活動」の一つとして、街頭にたつ機会を増やしていこうと思います。



共生園



毎月第一月曜日は、特別養護老人ホーム・身体障害者療護施設「共生園」の全体朝礼。正職員からパートさんまで「全員野球」で、明るい職場をつくってほしいと、いつも願います。



プロレス



実は大のプロレスファンです。亡き父と白黒テレビではじめてみたのがプロレスだったからだと思います。7月14日、旭川地場産センターで開かれた新日本プロレス旭川大会でリングに上がり開会宣言をしました。会場は満員。見事な「熱き闘い」でした。

このほど、旭正農業構造改善センターに業務用蒸し器が納入されました。市のこうした予算はわずかですが、一つひとつ努力を重ねていきます。



大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。